



日本学生オリエンテーリング選手権大会 スプリント競技部門実験大会 要項 (略称：インカレスプリント実験大会)

2014年3月7日(金)

春インカレモデルイベント、開会式、協賛トレイルイベントと同じ日
場所：栃木県矢板市内 (春インカレ要項3と同時に発表)

主催：日本学生オリエンテーリング連盟

協賛：(有)ヤマカワオーエンタープライズ

本大会を開催するテーマ：

- ・ オリエンテーリングは競技スポーツであり、学連はそれの日本を代表する学生組織である。フットオリエンテーリングではロング・ミドル・スプリント・リレーの4種目があり、今般世界最高の舞台である世界選手権(WOC)に日本から出場できる選手枠に従来とは大幅な変更が成され、日本は個人種目ではスプリント種目でしか実質上複数の代表選手を送り出せなくなった。しかし、選手の主たる供給元である学連は、スプリントに関しては、そのキャリアアップの正統なルートを作ってこなかった。
- ・ 学連は5年前に試行大会を実施し、インカレスプリントも正式発足という動きが一旦あったが、4年前に機関決定としてインカレスプリントの開催を否決しているという経緯もある。当時はそれでもルートはあるとも言えるシステムだったし、そこまでのモチベーションがない、マーケット(≒採算性)がない、という理由が大きかった。
- ・ 今となっては、正統なキャリアアップルートがmustなことは競技団体としての責務だが、ではどうしたらモチベーションが保て、持続可能なシステムで運営していけるのか、それを“実験”するイベントを開催することを学連幹事会で提案し、総会で説明・意思確認をした。
- ・ スプリントは、ついでにやるとか導入用の簡単な競技という側面以外に、トップの競技として、他の種目と違った側面、奥深さを持つ種目であり、マイナーを脱し最終的にはオリンピックに採用されることを狙った戦略的種目である。その点で今まで本格的取組みをして来なかったことも、モチベーションアップに繋がられなかったと考えている。本実験大会では、世界が今行っている本格的スプリントの要素も出来る限り採用したいと考えている。
- ・ 本大会実験は1回限りで、来年度早速インカレスプリントの創設を目指している(総会決議必要)。インカレである以上、他の種目と同様、学連に関わるものはお客さんでなく、自分達も「主催者」であるという理念が必要である。この大会は“実験”であり、できること・無理無茶なことを見極める場でもある。提案者周辺のマンパワーも極めて限られた中での“実験”になる。その上で、mustなことをしっかりと認識し、どういうことならやっていけるのかを皆で考える場にしたい。

(提案責任者：日本学連副会長 山川克則)

大会概要：

クラス	男子選手権（ME）と女子選手権（WE）のみ
一般クラス	開催しない。最も観客が多いと思われるシチュエーションで、高い緊張感の中、衆人環視の中でのルール遵守と速いナビゲーションとルートチョイスを問う。
設定優勝時間	12分
最大出場選手数	ME 30名、WE 15名程度
参加資格	インカレ実施規則第 4.1 項の規定（学連加盟員であること・学連登録年度 4 年以内・年齢は当該年度 3 月 31 日現在 29 歳未満）を満たすこと。
選手選考方法	自己推薦による。参加強制はしない。 最大出場選手数になるよう選考委員が調整して決定する。
自己推薦対象レース	過去のスプリントイベント（公認・非公認問わない、但し公開されていること）における最高コースの実績。 （過去 1 年以内から変更、何年前かは問わない） 最高コースの全参加者数に対して上位 1/10 に一度でも入れば資格ありとする。 ・1/10 では想定出場人数に満たない、あるいは過剰となる場合は、1/a の a の値を男女それぞれに前後させて再選考を行う。 ・同一基準で人数を絞りきれない場合は、1/a に入った回数、最近の成績かどうかとか、他に同じ大学の選手がいないこととかを優先選考事項とする。 ・最高クラスが男女混合の場合、WE に関しては、女子の中での成績とする。
選考委員（予定）	山川克則、大西康平、石澤俊崇、山上大智、海老成直
参加費	無料（大会運営は、学連予算／幹事会執行可能枠／と協賛社から援助による。）

大会の流れ（時間割）：特に記載の無いものは、春インカレ（ミドル&リレー）を指す。

8:30	モデルイベント、インカレ協賛トレイル受付開始
11:00	モデルイベント、インカレ協賛トレイル受付終了
12:00	モデルイベント、インカレ協賛トレイル競技終了
12:00～12:30	インカレスプリント実験大会 出場選手隔離 コントロール及び臨時構造物の設置
12:30～13:30	インカレスプリント実験大会競技 スタート間隔は 1 分毎、ME から先に競技 ME の最終ランナーの 3～5 分後から WE のスタート、表彰式は確定後直ちに
13:40～	開会式会場へ移動
14:30～15:15	スタート抽選会
15:15～15:45	開会式
15:50～16:10	テクニカルミーティング
16:10～17:00	シード選手紹介、シード選手スタート抽選
17:15～17:45	代表者ミーティング

申込方法：

以下の要件（書式任意）で 2/9 のイベント会場（山リハ）にて出場希望本人が直接書面で山川まで提出する。

2/9 のイベントに参加できない場合は、メールでの提出も可とする。（エクセルファイルを用意）

提出事項：氏名、大学名、登録年数、クラス、春インカレミドル出場クラス、自己推薦に相当する成績（大会名、期日、○クラス○人参加中○位、掲載されている web の URL）＝複数掲載可、自己推薦文（任意）、運営者からの連絡用メールアドレス

出場選手発表：2月17日、インカレスプリント web 上にて発表し、本人にメールで通知します。

優勝賞品：O シューズ（いわゆる“ヒモ付き”ではありません。自分の好きなOシューズ（もしくはランシューズ）を好きなメーカー・代理店から買うことができ、そのスポンサーとなります。（写真だけ撮らせていただきますが、それ以上の duty は求めません）2位～6位にも何らかの**オリエンテーリンググッズ**（順位により8000円>2000円相当品）を進呈）。さらに加えて、優勝者には以降2年間のYMOE社が行う個人種目のイベントの参加費を免除します。

表彰：ME、WE各上位6名を表彰、インカレ公式メダルと同じメダルを授与、このスプリント実験大会獲得メダルも、恒例の「山川杯」表彰対象のメダル数に含めます。

地図：JSSOM 基準による新規作成地図（YMOE社による調査）

縮尺 1:4,000 等高線間隔 2m 走行可能度 4段階+通行禁止の濃い緑

前走：谷川友太、松澤俊行各氏他に打診中、本レース中はインタビュアーとして活躍いただく予定

演出：1時間のスポーツライブショーのつもりで全体を構成します。本格的スプリントは、全体がひとつの“台本”であり、地図・コース・演出・渉外（&障害）要件も全て一体のものです。選手はその台本に従って素晴らしいパフォーマンスをいかに発揮するかの競技になります。本大会での台本作成（ディレクター）は山川が務めます。日本の第一人者である吉田勉氏、石澤俊崇氏、加藤弘之氏にアドバイスをいただきます。MC役は、新進マッパーの西村徳真氏に務めていただく予定です。

但し実験イベントであり、マンパワーも限られていますので、やれることに限度があることはお許し下さい。また、解説付き観戦ガイド（無料）を配布しますので各所での肝となる競技ポイントを観戦と同時に、選手がルール遵守で競技を行っているか監視していただきたいと考えています。インカレスプリント立ち上げに向けてできること、できないこと、やったほうがよいことなどを見極める場として今後の議論に積極的に参加して下さい。

スプリント競技の要件：

スプリント競技を提供するにあたって基準として掲げられている要件を記します。

- ・コントロールは技術的に容易
- ・走行は非常に高速で、
- ・難しいルート選択で、
- ・高い集中力を要求

ナビゲーションを問うよりかは、ミクロなルート選択（ショートカットや通りやすいところを通るなど）に伴う判断に重きを置く。そのために、地図が正確かつ取舍選択が的確で読みやすいことが求められる。

時間をかければ容易なことでも、高速になるが故に難しくなり、高い集中力が必要になる。

市街地で行うことが多く、通行可能部分に関しては厳しいルールがある。それに必要な集中力は、性善説で扱われがちな森でのオリエンテーリングでは扱いきれないほど高度なもので、観客の衆人環視によってルール管理が成立すると言っても良い。簡単なコントロールという点ではパークOと似ているが、高度な集中力を要すること及びその厳格な競技管理においてパークOとは厳然たる違いがある。

高い集中力を問う為に、既知の風景に対し、臨時の構造物や通過禁止の特徴物を設定したりすることがある（本大会でも選手隔離時間でこれを行う）。

学連では、この点を特に着目し、参加費収入に頼らない形で、多分国内で最も定期的に観客が多いと思われるシチュエーションで、世界でやっているスプリントに最も近い状況（それでも市街地で行うのは難しい）を創り、スプリントに一度真剣に取り組んでみようということを、機関決定致しました。

今後の展望：インカレスプリントの本競技立ち上げを、3/10 の総会で話し合っ、10/11 福井でのインカレロングの前日に行きたいと考えています。過去にインカレスプリント単独での遠征はできないという議論もありましたので、ロング前日開催が良いのか、ミドル前日開催が良いのかは、後の議論に委ねたいと考えていますが、組織としての仕組みの創出は急務であるという認識で日本学連加盟員つまり主催者である、という意識で考えていただきたいと思います。また、モチベーションアップのために当面は他の種目より豪華な賞品提供を続けていけるべく、スポンサー企業の獲得をめざしたいと考えています。

参考文献：非常に時間の限られた中での（今も）、提案および資料作成・準備ですが、拙い文章ながらも、その時々学連の会議セッション等で提出した資料を参考文献としてあげておきます。本要項と内容が違う部分は、その後の議論を経て修正された事項で、本要項の記述が正しいです。但し、本要項からも実施日までにさらに議論を重ねて変更される部分もあるかと思えます。

- ・ 昨年 10 月総会で提出したインカレスプリント大会創出の提案書
http://www.orienteering.com/~ymoe/IC_1310.pdf
- ・ 昨年の全日本スプリント後に開催された JOA 主催“スプリントフォーラム”に提出した資料
想定 Q&A 集
<http://www.orienteering.com/~ymoe/forum.pdf>
- ・ その全日本スプリントでの競技解説（西村徳真による）ルートチョイスを特に意識
http://shigaorien.nomaki.jp/me_analysis.pdf
- ・ また、World of O というサイトで、世界のスプリント（もちろん他の種目も）の映像や地図のアーカイブをいくつか閲覧することができます。非常に参考になるサイトです。
<http://worldofo.com/>

問合せ／意見・アイデアの募集（&協賛していただける事業者の方の募集）：

（有）ヤマカワオーエンタープライズ 山川克則まで

メール：[rmo-s.yamakawa \[at\] nifty.com](mailto:rmo-s.yamakawa@nifty.com) 電話：090-8041-4673

スプリントの真剣な競技環境の提供は最早 must と思いたって言い出してから、色々な人の意見を取り入れて中身がかなり変わりました。これからも多くの人々の有効な意見を取り入れながら、如何に盛り上げられるか、如何にこの競技にも真剣に取り組めるか、その環境づくりにプロのオリエンテーリング提供者の人生終盤の役割として取り組んでいきたいと考えています。引き続き、また大会終了後も宜しくお願いします。